

「労働者協同組合法制定記念 YEAR」企画



「社会運動戦略研究会」開講

主催：日本社会連帯機構

共催：日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会
センター事業団 協同総合研究所

新型コロナウイルスのパンデミックが続く中、新自由主義による搾取・収奪はますます進行し、全体主義が勢力を増す一方で民主主義の危機が叫ばれ、「気候危機」はいよいよ誰の目にも明らかになっています。私たち市民・大衆は、この根源的危機を克服するために、今こそ新たな社会運動を起こし、未来への道を切り拓かなければなりません。その糸口すら見出しあぐねているのではないのでしょうか。

日本社会連帯機構は「社会運動戦略研究会」を立ち上げ、現在私たちが直面する諸問題を学び、その解決を目指す新たな社会運動の戦略を構想することを目指します。研究会のより詳しい趣旨及び要領は添付文書をご参照下さい。研究会への参加はどなたでも自由です。第一弾として、以下、永戸代表理事他、発起人の座談会からスタートします。

多くの皆さまの積極的な参加をお待ちしております。

第1回：9月25日（土）13：30～15：30

混迷を極める現代に求められる「社会運動」とはなにか

（発起人4名座談会）



発起人 永戸 祐三 日本社会連帯機構 代表理事
西谷 修 同 副理事長（フランス哲学者）
山本 幸司 同 副理事長（元連合副事務局長・元中央労福協副会長）
吉原 毅 同 副理事長（城南信用金庫顧問）

事務局：中野 理 同 特別委員

第1回社会運動戦略研究会 Zoom ミーティング 9/25(土)13:30～

<https://zoom.com/j/85258797267?pwd=ajkxWXdSdlVtQzZDdHo5QkR4WEpNdz09>

連絡先：日本社会連帯機構事務局（酒見） 03-6907-8051 t-sakemi@roukyou.gr.jp

* 第2回：10月16日（土）13：30～15：30

講師（予定）：吉原 毅 日本社会連帯機構副理事長

研究テーマ（参加者からの要望に応じて今後調整）

1. 国際情勢：米国の世界戦略と日本の基地・自衛隊、核兵器と原発等
2. 気候危機：IPCC 報告書、気候危機と若者の運動等
3. 政治問題：政党政治・立憲主義・民主主義の危機、全体主義の潮流等
4. 経済問題：新自由主義政策の限界、新たな経済産業政策の可能性等
5. 社会保障：医療・年金・福祉と労働・就労政策等
6. 社会運動：多様な社会運動・大衆運動の現在と未来等
7. 労働者協同組合（法）：協働労働運動の展望（本格的な社会運動へ）等